

調査報告書

テーマ	上尾市内循環バス「ぐるっとくん」の調査														
調査場所	上尾市役所市民安全課	調査日	平成 18 年 6 月 7 日												
設立理念 及び経緯	<p>循環バスの担当課は市民安全課で、説明者は交通担当</p> <p>設立理念：高齢者及び買物客が駅や公共施設へ行くための足</p> <p>設立期日：H10.12.2 4 循環で運行開始（大石、大谷、上平、原市）</p> <p>その後：H13.3.1 平方循環を追加、その後、東西（右回り）、東西（左回り）を追加。 H17.4.14 平方循環、大谷循環を一部延伸。</p>														
調査結果 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上尾駅、北上尾駅が起終着点（駅中心、福祉的側面もあり） ・高齢者も身障者も有料で、全て 100 円。ただし、介護者が必要と認定されている方（第一種障害者手帳所持）と同乗する介護者だけは無料。高齢者、身障者も一般者と同様受益者なので料金をいただいている。 ・川越観光、協同観光、丸建自動車の 3 社に委託している。 ・上尾駅、北上尾駅での乗継ぎが多数あり、乗継ぎ 1 回は無料。 ・年末年始も含め、年中無休。 ・6 ルートでバスは 8 台使用。全ルート、全便で 1 日約 1300 名が利用、66 便あるので 1 便当たり約 20 名となる。 ・運行費用は 1 回の利用料金 100 円に対して約 300 円かかっている。（約 200 円の持ち出し） ・市では委託費用として年間約 9000 万円補助している。循環バスに関する審議会はない。 <table border="1" data-bbox="491 1099 1257 1279"> <thead> <tr> <th></th> <th>「ぐるっとくん」委託料</th> <th>上尾市一般会計予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>10021 万円</td> <td>551 億円</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>8990</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>9633</td> <td>484</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他にも停留所等バス関連経費として 100～1600 万円掛けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経路は地区ごとの循環が基本、東武バスと共生するため、市中心より外を回っている。 				「ぐるっとくん」委託料	上尾市一般会計予算	H16	10021 万円	551 億円	H17	8990	483	H18	9633	484
	「ぐるっとくん」委託料	上尾市一般会計予算													
H16	10021 万円	551 億円													
H17	8990	483													
H18	9633	484													
その他	利用者調査は年 1 回 2 日間掛けて実施している（平日、及び日曜日）														
市役所 担当意見	<p>「ぐるっとくん」が成功事例に挙げられているのはうれしいが、評価の一面だと思う。市からの持出しが多い。</p> <p>「ぐるっとくん」は 1 周 1 時間かかっており、利用者の利便性にいまひとつのところがある。東京武蔵野市の「ムーバス」は 1 周 30 分で運行している。</p> <p>（注）入間市内循環バスは片道で 1 時間かかっている。</p>														
所感	<p>入間市の循環バスよりも新しいのに、毎年調査をし、何回も見直し、利便性を増しているのはすばらしい。</p> <p>身障者も含めた 100 円の受益者負担が受け入れられているように思われた。</p> <p>市民の足としてこれだけの持ち出しが許されているのはなぜだろうか？</p>														